

中学生の「税についての作文」

大川三猪法人会 会長賞

私達と税金

大川市立大川桐薫中学校

三年 田 中 陸 王

私達の周りにはたくさんのごみがある。使わないプリント、着なくなった服、賞味期限が切れてしまった食べ物・などなど、挙げ始めると切が無い。どれくらいごみが捨てられているのか気になった私は、ウェブで調べることにした。そこには、驚愕の事実が書かれていた。日本では年間約四、一七六万トンのごみが捨てられているという。過去に「日本はごみが多く捨てられている。」と聞いたことがあったが、ここまでは思ってもいなかった。また、これらのごみを処理するのに税金が使われており、年間約二兆二五〇億円も使われている。これは、一人当たり年間一万八千八百円負担している事になる。

話は変わるが、私がSNSを見てみると、「これ以上税金を上げないでほしい。」という意見をよく見かける。しかし、税金を負担すること、私達の生活はとても密接な関係であると考え。特に先程の「ごみ」と私達の生活はそのいい例だ。つまり、税金が上がってしまう理由は少なからず私達の生活にも関係していると思う。私はごみのことを題材として話しているが、この他にも私達の生活が生んだ無駄が税金に

影響していることは、まだ数多にあると思う。そのような無駄を減らすことで、そこに使われるはずだった税金は、より社会の為になるところに使われるようになる。

税金は、私達の生活をより豊かにするために、至るところで使われている。私の通う中学校での授業料はもちろん、施設管理、二〇二一年四月からは一人一台パソコンが配布された。怪我をしてしまったときには病院に行くが、私の年齢であれば三割しか負担しなくていい。意外な使い道であれば、新たな技術開発にも使われていたり、海外の助けを必要としている国に貸されたりしている。税金は、私達の生活において、世界にとつて必要不可欠なものなのだ。もし、この制度が無くなってしまうえば・私達の生活が豊かになることはないだろうし、この日本という国が良い方向に向かう可能性も無くなってしまう。このようなことから、私達一人一人が、税金を深く理解することが、これからの私達の生活、日本を進化させ、世界を豊潤にする第一歩だと私は考える。

